

3. ぎんが衛星



3. 1. 「ぎんが」衛星

この教材において使用するデータは、全て「ぎんが」衛星(ASTRO-C)によって観測されたものです。この衛星を使用した理由は、3-2-1で説明するLACが観測するX線のエネルギー帯域が、中性子星の質量・半径を求めるのに、調度良いからです。

1987年、「ぎんが」衛星打ち上げ当初、ほぼ唯一のX線天文衛星として、世界中の注目を集めました。この衛星は、電源系・データ処理系・姿勢系および姿勢制御系・通信系・観測系の各機器で構成されています。

「ぎんが」の目的は

活動銀河X線の時間変化を系統的かつ長時間にわたって観測すること

われわれの銀河内のX線星の微小な、また短時間の変動を観測すること

の2つでした。